

令和7年度 盛岡市出資等法人 経営評価シート

1 法人の概要

法人名	公益財団法人盛岡市都南自治振興公社	所管課	林政課
所在地	〒020-0842 盛岡市湯沢1-1-13		
電話番号	(019) 637 - 0876	設立年月日	昭和62年3月25日
代表者	代表理事 立花 恵史 <input type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 <input type="checkbox"/> 市OB <input checked="" type="checkbox"/> 市現職 <input type="checkbox"/> その他		
設立目的	盛岡市都南つどいの森を護り育むとともに、安全で豊かな自然環境の中で、スポーツ、講習、体験及び老人福祉等に関する事業を行うことにより、市民の健康の増進及び青少年の健全育成並びに地域福祉の増進に寄与することを目的とする。		
主要事業	① 盛岡市都南つどいの森における市民の健康の増進及び青少年の健全な育成に関する事業 ② 盛岡市立都南老人福祉センターにおいて行う老人が明るい生活を営む支えとなる事業 ③ 盛岡市飯岡農業構造改善センターにおいて行う地域農業における振興並びに農村地域における生活及び文化の向上を図る事業 ④ 施設利用者の便宜を図るサービス提供事業 ⑤ 施設の管理運営に関する事業 ⑥ その他この法人の目的を達成するために必要な事業		

具体的な取組目標

成果指標名		単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
①	盛岡市立都南老人福祉センター（公益事業比率）	%	計画	99.4	99.4	99.4
			実績	100.0	100.0	100.0
②	盛岡市都南つどいの森（公益事業比率）	%	計画	91.0	91.0	91.0
			実績	81.7	79.0	78.0
③	盛岡市都南サイクリングターミナル（公益事業比率）	%	計画	24.8	24.8	-
			実績	41.8	72.0	-
④	盛岡市飯岡農業構造改善センター（公益事業比率）	%	計画	-	-	0.0
			実績	-	-	0.0

※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛り込まれている目標等を記載してください。

2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。

3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

2 法人の経営内容の詳細

(1) 目的適合性(公益性)

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 設立目的	1	法人は、設立目的に沿った活動を行っている。	○	
	2	全ての事業内容が、設立目的または趣旨にしたがって展開されている。	○	
	3	現在の社会経済情勢の下でも、法人の設立目的や事業には公益性が認められる。	○	
	4	法人を取り巻く社会経済状況は、設立当初から大きな変化はない。		○
2 代替性	5	民間等(株式会社の場合、他の事業者等)において、代替が可能な類似の事業が行われていない。	○	
	6	現在の事業量は、最大時の事業量と比べて著しく減少していない。	○	
	7	法人が事業を廃止すると、事業の実施する事業者がまったくなくなり、市民が不利益を被る。	○	
3 市の施策推進における役割	8	法人の活動は、関連する市の政策、施策に結びついている。	○	
	9	盛岡市総合計画やその他の部門別計画において、法人の役割が規定されている。	○	
	10	盛岡市総合計画やその他の部門別計画において、法人が実施する事業の施策上の役割、方向が規定されている。	○	
合計			9	1

・評価コメント

目的適合性(公益性)について総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての評価及び関与のあり方について記載してください。

出資法人	[現状と課題] 利用料金収入の減少等により、令和7年度は赤字になる見込みである。
	[方 策] SNSで施設をPRすることでつどいの森の利用者数増に努めるとともに、人件費の見直し等により支出を減らし単年度黒字を目指す。
所管課	[評価及び関与のあり方] 令和7年度の赤字見込みについて、経営改善の必要性を認識しており、改善に向けて自主的な取り組みを実施していると認められる。SMSIによるPRや人件費見直し等の方策が効果的に実施されるよう、進捗状況の確認や助言を行い、安定的な運営に向けて支援する。

(2) 計画性

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 経営基本方針	1	経営基本方針を策定している。	○	
	2	経営基本方針の内容は、簡潔明瞭である。	○	
	3	経営基本方針には、法人の存在理由が規定されている。	○	
	4	経営基本方針について、経営陣が全ての役職員に周知している。	○	
	5	経営基本方針は、全ての役職員に浸透している。	○	
	6	全ての役職員が、経営基本方針に従った行動をとっている。	○	
2 中長期経営計画	7	具体的な指標に基づく中長期経営計画を策定している。	○	
	8	中長期経営計画と実績についての分析は、半期以内のサイクルで行って	○	
	9	中長期経営計画と実績についての分析結果を経営陣に報告し、分析結果に基づき業務改善を議論する仕組みがある。	○	
	10	中長期経営計画と実績についての分析結果を中長期計画の見直しに反映させている。	○	
	11	中長期経営計画と実績についての分析結果に基づき、計画を達成するための具体的な業務の改善策を実施している。	○	
3 年次事業計画	12	年次ごとの事業計画を策定している。	○	
	13	年次事業計画と実績について分析し、分析結果を次年度以降の事業計画や中長期経営計画に適切に反映させる仕組みとなっている。	○	
	14	年次事業計画と実績についての分析は、半期以内のサイクルで行って	○	
	15	年次事業計画と実績についての分析結果を経営陣に報告し、議論する仕組みがある。	○	
	16	年次事業計画と実績についての分析結果に基づき、具体的な業務の改善策を実施している。	○	
4 経営環境の把握	17	法人の経営資源の長所、短所を把握し、法人の活動に反映させている。	○	
	18	外部経営環境(事業に関わる社会経済の動向・法令等の動きなど)を把握している。	○	
合計			18	0

・評価コメント

計画性について総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	[現状と課題] 盛岡市との基本協定書及び年次協定書並びに公社の事業計画に基づき、指定管理業務、自主事業業務を行っているが、利用者が伸び悩んでいる。
	[方 策] 利用者からアンケート調査を行い、つどいの森が求められていることや改善すべき点を確認し、SMSでPRする際に活用する。
所管課	[評価及び関与のあり方] 状況の変化に応じて事業計画の見直しを行い、柔軟に対応していく必要がある。利用者アンケートの分析やPR内容の検討が適切に行われるよう、助言及び指導に努める。

(3) 経営管理の仕組み

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 組織管理	1	組織構造は経営環境の変化に応じて定期的に見直しされている。	○	
	2	組織を機能ごと、または事業ごとに分け、役割を明確にしている。	○	
	3	部門ごとの連携が円滑に行われる組織体制になっている。	○	
	4	異なる業務間の配置転換、権限委譲等により組織の活性化を図っている。	○	
2 コスト管理	5	事業別、業務別など、個別の事業内容に関するコスト分析を実施している。	○	
	6	コスト分析の結果が、経営計画や事業内容へ反映される仕組みとなっている。	○	
3 顧客満足度	7	定期的に顧客満足度調査を実施している。	○	
	8	顧客満足度調査の結果を分析し、分析結果を経営に適切に反映させる仕組みとなっている。	○	
	9	顧客満足度調査の結果を分析し、顧客のニーズを把握している。	○	
	10	顧客のニーズを分析し、その結果を踏まえて改善努力をしている。	○	
	11	中長期経営計画や年次事業計画に顧客のニーズを反映させている。	○	
4 職員の 人材育成・能力開発	12	業務に必要な知識を身につけるための職員研修や派遣を実施している。	○	
	13	研修等により、実際に職員の能力・技術が向上している。	○	
	14	職員が法人の活動に関わりのある資格を取得している。	○	
	15	職員が研修で得たノウハウを、他の職員も共有している。	○	
	16	必要に応じ、専門知識を有する外部の人材を活用（職員として採用、指導や助言を受ける、など）している。	○	
	17	人材育成や能力開発を中長期経営計画等に盛り込んでいる。	○	
	18	経営陣は、人材育成や能力開発に積極的に関与し、かつ自らも学習し取り組んでいる。	○	
5 業務執行体制	19	決裁などの日常業務の意思決定や事務分掌、現金管理等、業務上の必要な規定が適切に整備されている。	○	
	20	理事会、取締役会をはじめとした業務執行体制が関係法令等に基づき適切に整備され、実質的に機能を果たしている。	○	
	21	経営上重要な意思決定は、理事会（取締役会、株主総会）の決議により行っており、必要に応じて迅速に開催できる体制が整っている。	○	
	22	監査の指摘事項に対して、改善策を実施している。	○	
	23	財務状況は、年度途中に定期的（必要があれば随時）に経営陣に報告する仕組みがある。	○	
6 情報公開	24	法人の財務状況や事業成果を積極的に外部に公表している。	○	
合計			24	0

・評価コメント

経営管理の仕組みについて総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	[現状と課題] 職員の資質の向上を図るため、年2回職場内研修を実施するとともに、関係団体が開催する研修に参加している。また、2週間に1度、業務連絡会議を開催し、その内容を全職員に周知している。
	[方 策] 職員の資質の向上を図り、職員のレベルアップに向けて取り組んでいく。
所管課	[評価及び関与のあり方] 職員研修や業務連絡会議の実施により、職員の資質向上に努めているが、さらなる職員のレベルアップに期待する。市としては、研修内容や業務改善の取組状況を確認し、必要に応じて助言を行いながら、組織力の向上を支援する。

(4) 財務状況

項目番号	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 財務状況	1	債務超過になっていない。	○	
	2	自己資本が十分に確保されている。		○
	3	借入金に依存しない資金運用を行っている。	○	
	4	市からの補助金の交付はない。または市に対する収入依存度は改善の傾向にある。	○	
		令和5年度決算において単年度黒字である。		○
		令和6決算において単年度黒字である。		○
		令和6決算において減価償却前黒字である。		○
	5	累積欠損金がない。	○	
	6	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。 ※この設問は、前の問で「いいえ」と答えた場合のみ回答してください。		
	7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。 ※この設問は、前の問で「いいえ」と答えた場合のみ回答してください。		
合計			4	4

・評価コメント

財務状況について総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	[現状と課題] つどいの森の利用者が減少傾向にあることから、利用料金収入が減少している。
	[方 策] 利用者からのアンケート調査で得た情報を活用し、つどいの森の良さをSNSでPRすることで利用者増に努める。
所管課	[評価及び関与のあり方] 利用料金収入の減少は経営上の課題と認識している。利用者の増加による収支改善に向けて、アンケート結果の活用やPR方法が効果的に実施されるよう、助言及び指導に努める。

(5) 活動成果

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 成果指標	1	各業務について、成果指標が数値で具体的に設定されている。	○	
	2	法人の設立目的と連動した指標となっている。	○	
	3	事業ごとに数値目標を設定している。	○	
	4	指標や目標は、類似の事業を行う他の団体(他の地方自治体の出資等法人など類似団体、民間企業、非営利団体等)の動向を踏まえて設定したものである。		○
2 活動成果の評価と公表	5	主要な成果指標について良好な水準を保っている、または改善の傾向にある。		○
	6	成果指標の達成度について定期的に検証が行われている。	○	
	7	法人の活動成果について、外部委員等による定期的な点検・評価が行われている。	○	
	8	活動成果をホームページ等の媒体を使って住民に公開している。	○	
合計			6	2

・評価コメント

活動成果について総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	[現状と課題] イベントをSMSで公開する等つどいの森のPRに努めている。フォロワーも増加傾向にある。
	[方 策] SNSでのつどいの森のPRを継続し、より多くの方に周知できるよう努める。
所管課	[評価及び関与のあり方] SNSによるPRの継続的な取組は一定の成果が認められ、フォロワー数の増加も確認されている。今後の情報発信がより効果的となるよう、内容や手法について助言及び指導に努める。

(6) 経営内容に関するその他の特記事項

出資法人
職員研修で個々の職員のレベルアップを図りつつ、表情豊かな自然と四季が楽しめる「都南つどいの森」を護り育むとともに、「つどいの森を未来の森へ」をキャッチフレーズに、利用者も、スタッフも、自然も笑顔になれる、魅力ある森林公園を目指します。 また、施設利用料金収入は厳しい状況にありますが、歳入の増加及び歳出の削減に取り組み、収支の改善に努めて参ります。

3 市による総合評価

盛岡市都南自治振興公社は、基本協定等に基づいた計画的な業務遂行や、職員研修等を通じた組織力向上の取組が認められる。また、SNSを活用した広報活動により一定の成果が見られ、利用者増に向けた工夫も行われている。一方で、利用料金収入の減少による財政面の課題が継続しており、収支改善に向けては、利用者の増加による増収と、業務の効率化による経費削減の両面からの対応が求められる。地域や社会情勢が変化する中で、各事業ごとに詳細な分析と適切な評価を継続的に行い、赤字解消に向けて努力を続けることが期待される。 市としても、従来の事業に加え、「つどいの森から未来の森へ」に向けた新たな事業活動の検討を含め、今後の経営についてヒアリングを行いながら、状況に応じて適切な助言及び指導に努める。
